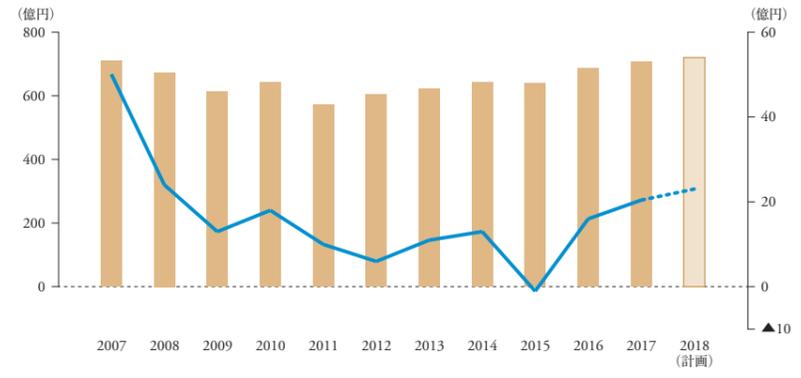




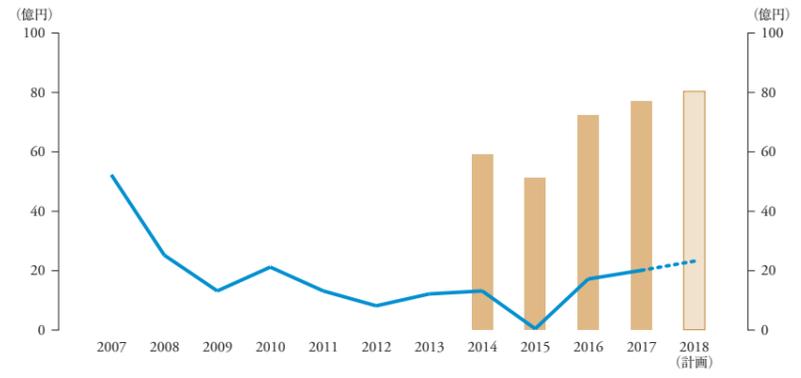
業績推移

2007年には構造改革が奏功し経常利益が50億円台まで上昇しましたが、その後リーマンショック、東日本大震災の影響により業績が低迷しました。2015年は中期経営計画に沿った積極的投資により経常損失となりましたが、2016年以降は投資効果により前年比増益を継続しています。



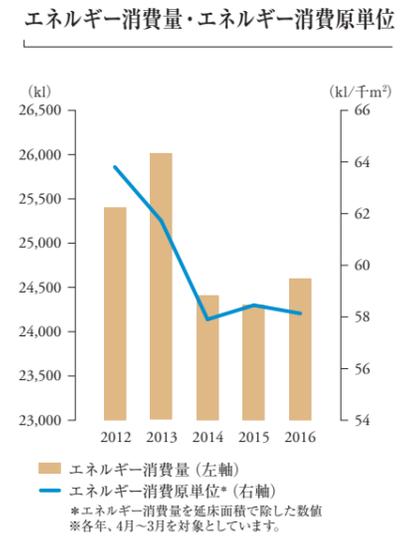
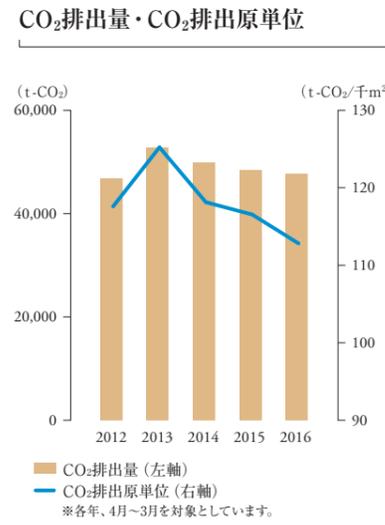
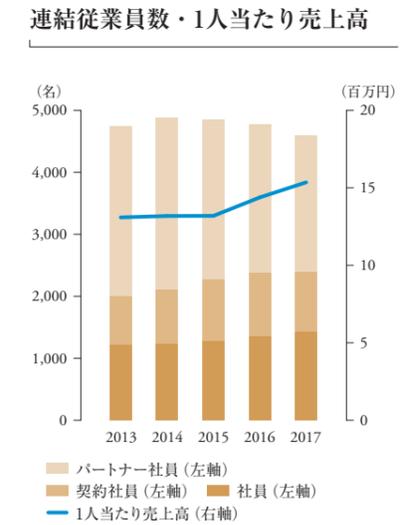
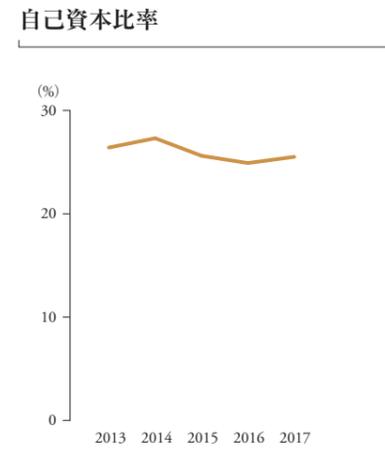
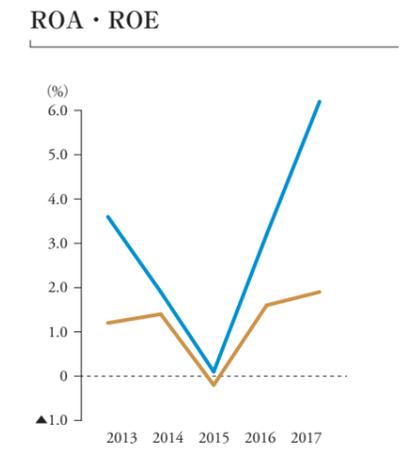
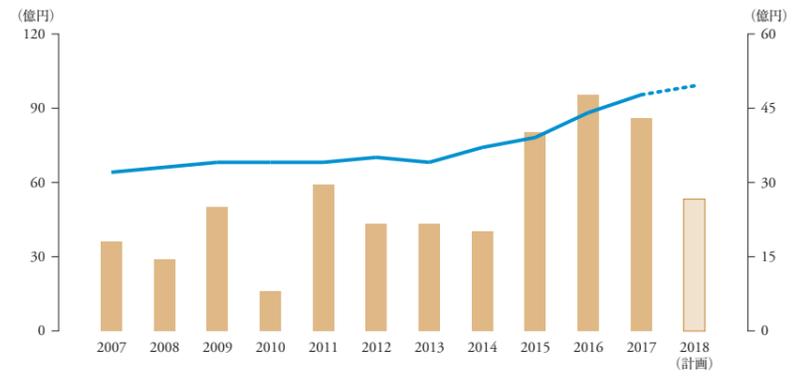
減価償却費等負担前営業利益・営業利益

減価償却費等負担前営業利益は、積極的な投資を実施するため、減価償却費や修繕費、投資一時金などを考慮し2014年から設定した当社独自の指標です。業績低迷時には投資を削減していましたが、中期経営計画を策定した2015年以降は先行投資を進め、2017年は前年比4.5億円の増益となりました。



設備投資額・減価償却費

インバウンドの増加をはじめとする宿泊需要の高まりを背景に、これまで見送ってきた投資を積極的に実施する方針に切り替え、既存事業の品質強化に努めるとともに、新規出店を加速することにより収益の安定と拡大を図っています。



海外での採用活動を積極的に実施するなど、インバウンドニーズに対応した従業員の充実を図るとともに、社員登用による有期雇用から無期雇用への転換により、質の高い労働力の継続的な確保を進めています。また、研修や技能コンクールは雇用形態にかかわらず参加可能にするなど、グループ全体としての人材力向上に努めています。

CO₂の排出量は、新規開業が続いた2013年度と比べ、電力使用に係るCO₂排出係数の低下や省エネ設備の導入によって減少し、単位面積当たりの排出量を示すCO₂排出原単位も減少しています。

2016年度はホテルグレイスリー京都三条などの新規開業がありエネルギー消費量は増加していますが、エネルギー効率を表すエネルギー消費原単位は平均して年1%以上低減しています。そのため省エネ法における努力目標を達成し、事業者クラス分け評価制度において経済産業省よりSクラスの認定を受けています。